

<h1>4年社会</h1>	「雪とくらす」 6時間
4年2組 教諭 宮崎 世司	1月27日(金) 5校時

1. 単元について

単元の特性・特徴

本単元は、学習指導要領の内容(4)アにあたる。札幌らしい特色ある学校教育の一環として取り組まれている。

教科書分析

世界的に見ても、札幌の降雪状況は大変珍しいことである。その札幌の特徴をとらえた上で、札幌市の除排雪システムや関係機関の連携、工夫や苦勞などが書かれている。また、市民の要望やこれからの問題なども書かれている。

これらを適切に積み上げていくとともに、より深い学びとなるために、“北海道雪たんけん館”のHPを参照していく。副読本とリンクする部分、情報を付け足す部分があるため、要所で活用していく。

更に、出前授業を取り入れることで、実感を伴った学びにすることができる。

2. 授業改善に向けて

改善1【確かな学びの積み上げがある教材化】

・「見通しをもつ」

自己の体験と新聞記事から単元を見通す

冬の生活において、雪は日常的に関わるものである。その雪が当たり前のように除排雪されている事実を意識していない。そこで、雪が除排雪されなかったらどうなるのか？を問いかけることで、自分たちの生活が麻痺してしまうことを連想させる。更に、大雪による交通状況等の新聞記事を提示する。そうすることで、除排雪の大切さがより実感のこもったものとなる。これらから、誰がどのようにして除排雪をしているのか？という、本単元の学習問題へと円滑に取り組むことができる。

単元の学習問題について、調べ活動を行う際には、副読本となる“わたしたちの札幌”だけでなく、“北海道雪たんけん館”のHPも活用することで、より確かな学びを積み上げることができる。

・「適度な抵抗感」

既習とのズレ、生活経験との比較から抵抗感を生む

調べ活動から得た知識について、自分たちの生活経験と比較させる。そうすることで、除排雪の仕組みやそれに関わる人々の苦勞が、より実感できる。

単元の後半では、これまで積み上げてきた既習と異なった資料を提示することで、学習問題を生ませる。

改善2【子どもの学びが高まる3つの場】

・つかむ場

市役所に寄せられた市民の要望のグラフを提示する。そうすることで、札幌市は世界一の除排雪システムであるという既習とのズレを生ませる。更に、間口に雪を置いていく事実を提示することで、札幌市が何をねらっているのかを意識させ、本時の学習問題への見通しを持たせる。

・わかる場

間口除雪をすることで、市の負担を軽減すること、体が不自由な人には、みんなで助けていくことなど、協力することがこれからの札幌を支えることにつながることを捉えさ

せる。

・たしかにする場「吟味する交流」

わかる場で提示した間口の雪が写った写真を再度提示し、「これは自分たちがやるべきである」という意識を持たせる。そこで、ほかにも自分たちにできないかや小グループで話し合わせる。そうすることで、“自分たちも取り組む”という意識を高めていく。

3. 単元の目標

○除排雪の仕組みに関心をもち、意欲的に調べている。

【関心・意欲・態度】

○関係機関と地域の人々の工夫や努力を、自分たちの生活と関係付けて考え、適切に表現している。

【思考・判断・表現】

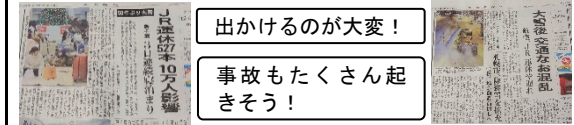
○資料やインターネットを活用して、除排雪の仕組みについて必要な情報を集め、読み取っている。

【技能】


○関係機関が相互連携して、緊急に対応する体制をとっていることを理解している。

【知識・理解】

4. 単元構成

1	<p>除雪がされなかったら、どのようになるのだろうか</p> <p>去年の札幌の様子 道新記事より</p>  <p>出かけるのが大変! 事故もたくさん起きそう!</p> <p>単元の学習問題</p> <p>札幌市の除排雪は誰がどのようにして行っているのだろうか。</p>
2 3	<p>札幌市の除排雪はどのように行われているのか?</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【除雪】</p> <p>道路脇に寄せる 10cmの降雪で活動 10km以上除雪</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【排雪】</p> <p>雪堆積場へ運ぶ 除雪の約80倍の費用 約2kmの排雪</p> </div> </div> <p>札幌市の除排雪は、距離や費用など世界一だね</p>
4	<p>札幌市の除排雪はどのような人が行っているのか?</p> <div style="text-align: center;"> <p>【雪対策室】 協力 【除雪センター】</p> <p>市役所 10区役所 23か所</p> <p>【土木センター】</p> </div> <p>たくさんの人たちが、大変な苦勞や工夫をして除排雪をしてくれているんだね</p>
5 本時	<p>どうして札幌市は、家の前に雪を置いていくのだろうか?</p> <div style="text-align: center;"> <p>間口除雪 【札幌市】 福祉除雪</p> <p>【市民】 協力 【体が不自由な人】</p> </div> <p>やってもらっただけでなく、自分たちでも取り組むことが大切だね</p>
6	<p>札幌市の除排雪を発信しよう!</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">家族に</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学校の友達に</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">札幌の人達に</div> </div>

5. 本時案 (5 / 6 時間)

本時の目標	札幌市が家の間口に雪を置いていくことの意味を考える活動を通して、やってもらうだけでなく市民一人一人が協力して除雪することの大切さを、また、自分たちの暮らしを守ることにつながることを理解する。	
場	子どもの意識の流れと学習活動	教師のかかわり
つかむ	<p>間口に置かれた雪の写真から、札幌市が雪を置いていく意味について考える。</p> <p>本時まで、札幌市の除排雪システムの仕組みや働く人の工夫や苦労について学習している。</p> <p>○間口に置かれた雪の写真を読み取る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">家の前に雪が置かれたままだ。</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">しっかり除雪していない！</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> どうして札幌市は、家の前に雪を置いていくのだろう？ </div>	<p>【ICT活用：資料の提示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の要望で除雪が1位であることが分かるグラフを提示する。そうすることで、既習とのズレを生み、問題意識を生ませる。 ・家の間口に雪がある写真を提示する。更に、間口に置かれることでの困り感を問いかける。そうすることで、本時の学習問題を醸成していく。
わかる	<p>札幌市が間口に雪を置いていく意味について、市民にも協力してほしいということ、また、お年寄りなど体が不自由な人のことも考えて助け合う必要があることを理解する。</p> <p>○間口に雪を置いていく理由を、ノートや副読本を手がかりにして考え、ノートにまとめる。</p> <p>○学習問題に対する考えを交流する。</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">札幌市</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 時間がかかる 一台で10kmの除雪 車道歩道で8400km 世界一 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> お金がかかる 1日1億2000万円 一冬180億円 世界一 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 更に、間口の雪も気にしていたら… </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; margin: 0 10px;">協力</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">市民</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">体の不自由な人</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 札幌市の除雪は、市民みんなで協力していくことが大切だ！ </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「要望があるのなら、しっかりやるべきなのでは？」と切り返すことで、現在の除排雪システムにかかる時間や費用の面での考えを引き出す。 ・札幌市が間口に雪を置く理由を視覚的に捉えられるように、「時間」と「費用」で分類し、板書に位置付ける。 ・お年寄りや体の不自由な人の視点をもたせるために、「市民全員が協力できるかな？」と切り返す。
たしかにする	<p>札幌市だけに頼らず、自分たちも札幌市民の一人として何ができるのかを意識し、考える。</p> <p>○自分たちにできることを考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">家の前の除雪ができるね！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">近所のお年寄りの家の除雪を手伝おう！</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> やってもらうだけでなく、自分たちでも取り組むことが大切だ！ </div> <p>○今日の学習をふり返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに提示した間口に雪がある写真を再提示する。そうすることで、自分たちで取り組もうとする意識を持たせる。 ・これから自分たちに何ができそうなのかを小グループで話し合わせる。
本時の目指す子どもの姿	間口除雪など、札幌市民全員で協力していくことが大切であることがわかり、自分に何ができるのかを考えている。	

6. 板書計画

